

## はじめに

礪波恵昭  
と な み け い し ょ う

「仏像ブーム」という言葉を耳にするようになってどれくらい経つでしょうか。仏像をとりあげたテレビ番組を目にする機会が増え、それまであまり知られていなかったお寺の仏さまも脚光を浴び、全国の仏像を紹介する書籍も数多く出版されるようになりました。

そうした「仏像本」が多くある中で、本書は『芸大の先生に教わる仏像の歴史』というタイトルどおり、芸術大学での仏像史の講義をもとに、受講生によるイラストで日本の仏像の歴史をその黎明期から現代まで概観できるように企画しました。精緻なイラストで仏像の表情やプロポーション、衣の表現の時代による変遷を浮かび上がらせるような構成を柱としており、種類の違いや制作技法は簡明なイラストでわかりやすく図解しています。本書を通して読んで頂ければ、日本の仏像の時代によるちがいを体得して頂けるはずですし、各章やコラムのページ・漫画を個別にめくって頂くだけでもその時代や技法の特徴をつかんで頂けると思います。

さらに、どうしても「鑑賞」に力点が置かれる「仏像ブーム」の陰で忘れられがちになりますが、仏教での救済を叶えてくれる「仏さま」として切実な願いをこめて作られ、多くの人びとの信仰を集めてきたことや、幾多の戦乱や災害に遭いながらも信仰の力で命がけで護られてきたという視点も大事にしたつもりです。

本書を通して、日本の仏像の流れとそれを取り巻く社会的背景にも興味を持って頂ければ幸いです。

芸大の先生に教わる仏像の歴史 目次

## はじめに 礪波恵昭 2

まずはここからおさえておきたい

仏像を知るうえで大切な「形式」と「様式」とは？ そしてそのちがいは何？ 8

如来の特徴 10 菩薩の特徴 11 明王の特徴 12 天の特徴 13

## 序章 仏像の誕生 15

日本への仏教伝来 17

## 第1章 飛鳥時代前期

日本最古の仏像！

横から見られることを想定されていない

「人間離れ」した造形

時代の特徴がよく表れた、聖徳太子信仰の象徴

正面以外からの視線も想定し作られるようになった

「三次元」を意識した優美な造形

マンガでわかる

飛鳥時代前期のまとめ

飛鳥寺 釈迦如来坐像

法隆寺西院金堂 釈迦三尊像

法隆寺東院夢殿 観音菩薩立像（救世観音像）

法隆寺西院金堂 四天王立像のうち多聞天像

法隆寺 観音菩薩立像（百済観音像）

20 21 28 29 32 40

## 飛鳥時代後期

|  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| 子どものような柔和な表情の<br>立体感をつけ、「人間に近づける」意識が芽生え始めた<br>厚い胸板、豊かな量感<br>充実した立体感でほとけの救いの力を表した<br>「極楽浄土の世界」を具現化！<br>「写実化」がさらに一歩進んだ<br>腰のひねりの表現はこの仏像がさががけ | 法隆寺<br>興福寺<br>當麻寺<br>當麻寺<br>法隆寺<br>法隆寺<br>鶴林寺 | 六観音像のうち観音菩薩立像<br>仏頭<br>弥勒仏坐像<br>四天王立像のうち持国天立像<br>伝橘夫人念持仏及び厨子<br>観音菩薩立像（夢違観音）<br>聖観音菩薩立像 | 49<br>52<br>53<br>56<br>57<br>61<br>64<br>73 |
|--|---|---|--|

マンガでわかる 飛鳥時代後期のまとめ

## 奈良時代前期

|  |                                  |   |                                  |
|--|----------------------------------|---|----------------------------------|
| 仏教文化の興隆 国分寺・国分尼寺を中心に<br>遣唐使が伝えた新たな時代の造形美<br>新技法が自由自在に駆使された<br>人を惹きつけてやまないまなざし<br>礼拝対象にふさわしい、崇高さを理想化した姿 | 東大寺法華堂<br>東大寺法華堂<br>興福寺<br>薬師寺金堂 | 不空羂索観音菩薩立像<br>伝月光菩薩立像<br>八部衆立像のうち阿修羅立像<br>薬師三尊像 | 76<br>77<br>80<br>81<br>85<br>94 |
|--|----------------------------------|---|----------------------------------|

マンガでわかる 奈良時代前期のまとめ

## 奈良時代後期

|   |                     |                                |                                 |
|---|---------------------|--------------------------------|---------------------------------|
| 新たな唐の影響 渡来僧を中心に<br>鑑真とともに来日した唐の工人による新様式<br>木の肌を生かした豊かな質感、厳しい表情の<br>時代を象徴する新技法。廃仏毀釈運動から逃れた | 唐招提寺<br>唐招提寺<br>聖林寺 | 盧舍那仏坐像<br>伝薬師如来立像<br>十一面観音菩薩立像 | 100<br>101<br>103<br>105<br>112 |
|---|---------------------|--------------------------------|---------------------------------|

マンガでわかる 奈良時代後期のまとめ

## 平安時代前期

|  |   |  |  |
|--|---|--|--|
| 充実した量感表現の二つの系統<br>これまでにない造形、人々に畏敬の念を抱かせた<br>妖艶な曲線美、密教という新たな仏教を象徴する<br>怨霊や呪詛に対抗するための厳しい表情か、<br>肉付き良い体と表情豊かな衣、<br>時代を代表する木彫像<br>時代のターニングポイント的存在！<br>マンガでわかる 平安時代前期のまとめ | 東寺（教王護国寺）講堂<br>観心寺<br>神護寺<br>法華寺<br>仁和寺 | 不動明王坐像<br>如意輪観音菩薩坐像<br>薬師如来立像<br>十一面観音菩薩立像<br>阿弥陀三尊像のうち阿弥陀如来坐像 | 116<br>120<br>121<br>124<br>129<br>132 |
|--|---|--|--|

## 平安時代後期

|                        |     |
|------------------------|-----|
| 末法思想と浄土教の広まり           | 136 |
| 時代が求めた、やさしい表情          | 137 |
| 貴族の絶大な人気を集めた定朝の現存唯一の作  | 142 |
| 「定朝様」が一大ブームだったことを伝える傑作 | 145 |
| 「来世は救われたい」という願いを具現化した  | 149 |
| 仏教そのものの「変化のきざし」が現れ始めた  | 150 |
| マンガでわかる 平安時代後期のまとめ     | 162 |
| 六波羅蜜寺 薬師如来坐像           | 136 |
| 平等院鳳凰堂 阿弥陀如来坐像         | 142 |
| 法金剛院 阿弥陀如来坐像           | 145 |
| 三千院 阿弥陀如来及び両脇侍像        | 149 |
| 長岳寺 阿弥陀如来及び両脇侍像        | 150 |

## 鎌倉時代

|                      |     |
|----------------------|-----|
| 写実様式の展開              | 166 |
| 運慶の「好きなように」作らせた像     | 169 |
| 運慶の写実表現の到達点！         | 173 |
| 端正な、あまりに端正な快慶の作      | 176 |
| 元寇にそなえ作られた           | 181 |
| マンガでわかる 鎌倉時代のまとめ     | 184 |
| 浄楽寺 阿弥陀三尊像のうち阿弥陀如来坐像 | 166 |
| 金剛峯寺 八大童子像のうち制吒迦童子像  | 173 |
| 東大寺 阿弥陀如来立像          | 176 |
| 東大寺真言院 四天王立像のうち持国天立像 | 181 |

## 南北朝～江戸時代・近代

|   |     |
|---|-----|
| 「鎌倉時代の型」がのちの時代も仏像の典型に                         | 188 |
| 天才に頼らない仏像生産システムが整っていたことを示す                    | 189 |
| 東寺（教王護国寺）金堂                                   | 189 |
| 薬師三尊像のうち薬師如来坐像                                | 193 |
| 貴族らに頼らず、民衆の想いにより作られたことが画期的な浄真寺 九体（九品）阿弥陀如来坐像  | 195 |
| ほとけの姿を材の中から見いだし彫ったような異色の仏像 円空作 如来立像／木喰作 木喰自身像 | 197 |
| 温故知新、東洋と西洋の融合 竹内久一作 執金剛神立像                    | 197 |
| マンガでわかる 南北朝～江戸・近代のまとめ                         | 202 |

|                        |     |
|------------------------|-----|
| コラム1 金属造について           | 34  |
| コラム2 木造について            | 37  |
| コラム3 埴仏・押出仏について        | 66  |
| コラム4 塑造について            | 68  |
| コラム5 乾漆造について           | 70  |
| コラム6 東大寺大仏鑄造法について      | 90  |
| コラム7 木心乾漆造について         | 110 |
| コラム8 寄木造について           | 154 |
| コラム9 仏像を制作する工房（仏所）について | 158 |
| コラム10 玉眼について           | 160 |
| コラム11 善光寺式阿弥陀三尊像について   | 200 |